

仙台市食育推進計画〔第2期〕後期計画最終評価に係る各種調査等の結果(速報値)について

1 概要

本市の仙台市食育推進計画〔第2期〕後期計画は、計画期間が令和5年度までであり、今年度は本計画の最終評価を行うこととしている。

最終評価に向け、計画における指標項目の達成状況を把握することを目的に、昨年度実施した各種調査等から、結果(速報値)をまとめた。

今後、調査結果の分析を進め、計画の達成状況についての最終評価を行う。

2 最終評価に係る主な調査内容

① 仙台市民の健康意識等に関する調査

- ・調査対象：20歳以上の男女6,000人(無作為抽出)／有効回答数：2,752人(回答率45.9%)
- ・調査期間：令和3年9月3日から9月30日まで
- ・調査項目：「健康意識・健康管理」「栄養・食生活」「食育」「身体活動・運動」「休養・こころの健康」「たばこ」「アルコール」「歯と口の健康」「社会参加、地域とのつながり」「新型コロナウイルス感染症の影響」

② 市政モニター調査

- ・調査対象：市政モニター200人／有効回答数：189人(回答率94.5%)
- ・調査期間：令和4年2月7日から2月21日まで
- ・調査項目：「食生活について」

3 結果(速報値)

(1) 評価指標の状況等

各種調査結果、並びにその他関係各課において把握した仙台市食育推進計画〔第2期〕後期計画に掲げる各指標の速報値について、平成28年度に行った調査結果との比較を行った。(資料3-2)

指標数24 [改善：9、悪化：13、変化なし：1、集計中等：1]

※速報値を中間値と比較し、0.5ポイント以上の改善又は市目標値達成を「↑」、0.5ポイントの悪化を「↓」、0.5ポイント未満の変化を「→」、集計中等を「ー」としている。

(2) 現時点での考察

指標中半数以上が「悪化」となっている。この中には、「食育に関心のある人の割合」や「栄養バランスに気をつけている人の割合」の減少、また、4歳児・中学2年生や20・30歳代男性の「朝食を毎日食べる人の割合」の減少といった、食への関心や健康に関わる項目が含まれている。

速報値のみからは悪化の要因等の把握は難しく、今後、更なる分析が必要である。

4 今後について

- ・最終評価にあたっては、各種調査結果のクロス集計など、各指標に関する分析とともに、これまでの取り組みにおける各事業の実施状況や推進体制についての評価を行い、課題を明確化する。
- ・第2回食育推進会議に向けては、庁内関係部署により構成する連絡会議における協議等も実施しながら、食育推進会議委員の方々からのご意見も頂戴し、最終評価をまとめるとともに、次期計画策定へ向けた課題や方向性について整理する。